

令和4年度

## 第9回 和光市地域公共交通会議

### (1)開催概要

- 日 時 : 令和5年3月27日(月) 13:00~14:10
- 場 所 : 和光市役所 502 会議室
- 出席者 : [和光市地域公共交通会議委員] 出席 17 名  
[事務局] 5 名

### (2)会議の概要

#### 1. 開会

#### 2. 挨拶

市長

皆様、こんにちは。市長の柴崎です。

本日はお忙しい中、第9回和光市公共交通会議に参加を頂きまして、ありがとうございます。委員の皆様におかれましては、日頃より和光市公共交通に関して、多大なるご尽力を頂きまして心から敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。市内循環バスの運行見直し案につきましては和光市地域公共交通計画に基づき、コンパクトな運行への見直しにより長い運行時間の解消や、運行本数の増加等により、より使いやすい市内循環バスを目指して計画に取り組んでまいりました。

令和5年1月に開催した第8回和光市地域公共交通会議においては、委員の皆様により市内循環バスの運行見直し及び、新たな移動手段の導入・素案につきましてご承認を頂き、令和5年2月にパブリックコメントを実施、意見書の提出が16名の方からあり、42件のご意見を頂きました。

頂いたご意見につきましては、事務局にて運行見直し案への反映等の検討を行い、運行見直し案の一部修正を行いました。

そしてこの度、市内循環バスの運行見直し、及び新たな移動手段の導入に関する最終案が出来ました。

この運行見直し案につきましては、本会議でご承認を頂いた後、令和5年10月の運行予定を目指して引き続き取り組んでまいります。

本日は運行見直し及び、新たな移動手段の導入案について、説明を行った後、委員の皆様のご意見等を頂き承認をいただければと存じます。

最後になりますが、本日までご参加の皆様のご健勝とご多幸を祈念しまして、ごあいさつとさせていただきます。本日はよろしく申し上げます。

### 3. 議事

#### ① 委員(市民公募委員)の紹介

#### ② 会長選出

- ・会長に福島大学准教授 吉田樹委員、副会長に和光市建設部長 漆原 博之委員が選出された

#### ③ 和光市内循環バス運行見直し及び新たな移動手段の導入(案)に係るパブリックコメントの実施結果及び計画の一部修正

- ・会長よりこれまでの流れと、本日の進行について説明
- ・資料1～資料5を基に事務局より説明

#### 会長

ありがとうございます。資料1～3ではパブリックコメントを皆様から頂戴したものを踏まえて一部ルートの変更、あるいは停留所の増設、停留所の名前の変更、それから優待券制度、特に妊産婦向けについては出産後に限りお父さんも使える、代理申請も可とする提案がありました。

一方、資料4と5がもう一つの柱であるスケジュールですが、特に資料4について運行開始を10月1日としています。そこに向けた段取りというものを示しています。若干補足を差し上げますと、一番上に事業者の選定とあります。今日の事務局からの話によると、新しく増設する2台分についてはプロポーザルで選定をします。それを4月から5月までにやるということになりますから、プロポーザルに際しては「こういう運行形態にする」ということを決めておかなければいけませんので、資料1から3の内容を皆様にご議論いただくことが必要となります。

このプロポーザルの選定の後、下から2段目、6月中に地域公共交通会議で皆様にお集まりいただく必要があります。これは、許可申請には協議が整った旨の証明書を附して運輸局に提出をしなければいけないので、この6月の地域公共交通会議で最終確認を行います。それを受けて運輸局に6月末までに許可申請を行うので、その時期は基本的に変えられないかと思えます。ただ一方で、具体的な、例えば路線図・時刻表をいつのタイミングで配るのか、あるいは評価を行っていく時期がこういう点線で良いのかなど、色々論点がある感じがしており、こちらの方も併せてご覧頂ければ宜しいかなと思えます。

それでは今回は資料1～3と資料4と5の二つの柱がありますが、双方関連致しますのでまとめてご質問・ご意見等をお伺い出来ればと思っております。

#### 委員

福祉施策との連携とあるので、和光市社会福祉協議会で運行している高齢者福祉センター送迎

バスについて、今年1月初めにも要望したが、市役所だけでなく、駅でも下車できるようにして欲しいという声がある。また、各公共施設等でも乗降出来るようにして欲しい。

#### 会長

ありがとうございます。資料5の施策7において、福祉バスに関して駅で下車できるようにするなどの改善などについて、出来るだけ進めて欲しいというご意見でした。

#### 事務局

福祉センターの送迎バスにつきましても、日ごろから色々なご意見を頂いている。市の循環バスからもどのようなことが出来るのか福祉部局と関係を築きながら連携していきたい。また、質問の件についてはどのような施設で、どういった需要があるのか利用状況を見ていき、介護予防状況を踏まえ高齢者の方、障害者や妊婦の方にも資する形で検討を進めていきたい。

#### 委員(保健福祉部長)

補足をすると、公共交通と福祉施策の連携については前向きに進めている。その中で高齢者福祉センターの送迎バスの利用についても、施設利用前後に途中乗車・下車することは利用促進の観点から前向きに検討していきたいと考えている。色々な要望について、積極的に公共交通の関係部署と連携して実現できるようめていきたいので皆様からご意見があれば頂戴したい。

#### 会長

白ナンバー車の送迎の場合、自宅から施設までの単純往復が前提となる。途中にある駅での乗降は道路管理者或いは各交通事業者等と調整が必要なので、それを経ればやれないことはない。法律に則りながら、この会議の場を上手く活用して進めて戴ければと考えます。

福祉の方の送迎バスの話と、それから私たちがメインに今まで考えてきた循環バスをどう連携するのか、実質化していく議論ができるようになればと思います。

そのほか、ご意見ございますか。

皆様から意見が出てくるまでの間に、資料4について気になる点が二つあります。一つ目が上から5段目の路線図・時刻表の話です。確かに新しい運行を早めに周知するという意味で計画して頂いているのは凄く良いことだが、例えば6月の地域公共交通会議で微妙に変わるかもしれません。停留所の名前がこちらの方が良いとか。あと、一番下の研究会の所に関連しますが、ルート①からルート⑤の5ルートになるのですが、ルート番号だけで大丈夫でしょうか。例えば白子3

丁目に行くのはルート幾つだとか、私は和光市民ではないからかもしれませんが、混乱してしまうかもしれません。

私がお手伝いしている武蔵野市のムーバスの場合だと、3号線は境南西循環線のように、なんとなく武蔵境駅を境として南側でさらに西の方を走るのだなということがなんとなくわかる。数字と路線名が一緒になっている案内をした方が、初めて和光市を訪れた人、若しくはたまに利用する人にとってもわかりやすいかもしれません。

研究会でルート名称を決めていき、皆様にも6月の公共交通会議でご相談した上で決めていくのはいかがでしょうか。そうすると、路線図・時刻表は早すぎないかという思いもある。

#### 事務局

仰る通り、周知の観点から早く決めて進めたいと考えておりましたが、ご意見の通り、バス停名称などに関して6月の公共交通会議で諮ることが大前提になると、このスケジュール感については見直していきたい。

#### 会長

皆様にお配りする、あるいは印刷・製本がもうちょっと後倒しになっていって公共交通会議あるいは研究会の皆様の意見が反映できるような形になればよいと思っています。

その他宜しいでしょうか。

それでは資料1～3がパブリックコメントを受けた修正です。そして資料4・5のスケジュールは高齢者福祉センターの送迎バスについて、この会議でも議論できる体制を作っていければと考えています。路線図・時刻表については研究会や公共交通会議で皆様のお知恵を借りながらバス停名称変更などの修正を考慮して、設定時期を後ろ倒しにするお話もありましたが、主だって原案通りとなっています。資料1～5について、お認め頂けるということで宜しいでしょうか。

(異議なし)

資料4について、研究会の10月以降の予定が入っていないのが気になります。また、資料4の評価検証方法等の検討においても運行開始前後が比べられるようにして欲しいので、その方法について事務局で検討し、6月の公共交通会議の場でお示しいただければと思います。

残るは報告事項になりますので、進行を事務局へお戻します。

#### 4. 事務局より報告事項

- ① タクシー利用料金助成事業の実施状況について
- ② 自動運転サービスの導入検討について

##### 委員

実証実験について、無人で走ることで子供達の通学時間帯は使わないとか安全面に対するの対策を聞きたい。

##### 事務局

実証における安全面、どのような計画でどのように運行するのかについて、東武バスウエストと調整を続けている。走行するバスルートは現行のものを利用する。時間帯に関しては、ピーク時間の朝・夕時間を避け、昼間の時間(10時～15時)を走るように調整中。

自動運転走行についても完全無人運転のレベル4ではなく、運転手がいて、緊急事態に対応できるレベル2走行を予定。信号のない交差点もあるためしっかり対応していく。

##### 委員

タクシー券について。公共交通空白地域向けに4,192枚配布され、23.5%の利用率であったが、使えた人がいる反面、全然使えないという人も結構いたと聞いている。タクシー券を配る際に希望を聞くとか、タクシー券に代わるものの検討をしたのか。地域によっては乗りたくてもタクシーが来ない。タクシー会社を支援する目的で始めたとのことだが、数字から見ると該当しない市民が多かったのではないかと。事業開始前に少々検討を深めた方が良かったのではないかと感じた。

##### 事務局

タクシー会社の支援という面からも進めた事業ではあるが、利用者からは「来てもらえない」、「電話が繋がらない」などのご意見を頂いた。この意見をタクシー会社とも共有し、使いやすい方法を検討していきたい。今後は対象の地域についても絞って事業を進めることを考えており、対象者が使いやすくなるよう、今回の利用の意見を採用しながら進めていきたい。

#### 5. その他

なし。

#### 6. 閉会

委員の皆様においては、会議開催にご協力頂きありがとうございました。次回の公共交通会議については、令和5年6月頃を予定している。詳細が決まり次第、改めて共有します。本日はありがとうございました。

以上